

＜人権教育・常時指導のチェックリスト＞

常時指導は、人権教育の基盤をなすものです。お互いを大切にする温かい雰囲気のある教室を作るために、教師は人権意識を高め、日常の学級経営や生徒指導・授業時間など学校生活全般において、人権尊重の態度で児童・生徒に接していきましょう。

【学級経営の場面で】

- 教職員から笑顔で元気よく挨拶している。
- 授業の開始・終了時刻を守っている。
- 一人ひとりの良さががんばりを認め、自己肯定感を高めようとしている。
- お互いに協力したり、考えを認め合ったりする活動を取り入れ、児童生徒の人間関係を築く能力を高めようとしている。

【生徒指導の場面で】

- 仲間はずれや孤立した児童生徒はいないかを把握し、素早く対応している。
- 冷やかし、からかい、悪口などに対して、その場で毅然とした指導を行っている。
- 指導の際には複数対応を原則とし、児童生徒の心に響く丁寧な指導を実践している。
- 個人的な注意や指導の時は、全体の場ではなく個人を呼んで分かりやすく話している。

【言語・教室環境の充実に向けて】

- 教師が率先して、丁寧な言葉遣いを心掛けている。
- 児童生徒の名前を呼ぶときは敬称（さん）付けを心掛けている。
- 呼名されたら「はい」と返事をするように指導している。
- 友達に対して「ありがとう」「はい、どうぞ」等の優しい言葉がけをするように指導している。
- 作品が他の児童生徒や保護者の目に触れる場合は、誤字・脱字・児童生徒名の誤記などに特段の注意を払っている。
- 児童生徒全員の作品や集合写真等を掲示するなど、学級への所属意識を持たせるようにしている。
- 宿題の提出状況など、個人のマイナス情報は掲示しないようにしている。
- 掲示物や机、ロッカー等を整理・整頓し、心地よい環境になるようにしている。

